



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社トリドールホールディングス
代表者名 代表取締役社長 栗田 貴也
(コード:3397 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 兼 CFO 兼 ファイナンス本部長
兼 財務部長 山口 聡
(TEL. 03-4221-8900)

第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正 並びに中長期経営計画の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表した2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と本日公表の実績との差異が生じたこと、及び当該実績値をふまえて2024年3月期通期連結業績予想を上方修正しました。合わせて、2023-2028年3月期中長期経営計画も上方修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
前回発表予想 (A)	百万円 103,150	百万円 4,630	百万円 3,180	百万円 2,680	百万円 1,660	百万円 1,210	円 銭 11.68
実績 (B)	112,602	8,073	7,938	8,171	4,984	4,598	50.58
増減額 (B-A)	9,452	3,443	4,758	5,491	3,324	3,388	
増減率 (%)	9.2%	74.4%	149.6%	204.9%	200.2%	280.0%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期 第2四半期)	91,970	4,725	6,479	7,464	4,804	4,418	48.64

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 212,000	百万円 9,650	百万円 6,650	百万円 5,650	百万円 3,500	百万円 2,600	円 銭 25.47
今回修正予想 (B)	231,000	13,700	10,000	9,300	5,700	4,800	50.67
増減額 (B-A)	19,000	4,050	3,350	3,650	2,200	2,200	
増減率 (%)	9.0%	42.0%	50.4%	64.6%	62.9%	84.6%	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	188,320	6,984	7,466	7,726	4,456	3,827	39.58

(注) 事業利益: 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

2. 通期連結業績予想修正の理由

2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績については、多くの業態の1店舗当たり収益性が想定を上回って推移しました。売上収益は丸亀製麺、国内その他、海外事業の全セグメントで上期最高となり、計画を9.2%上回りました。事業利益(注1)も上期最高となり、計画を74.4%上回りました。営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益も計画を大幅に上回ったことから、通期連結業績予想を上方修正しました。

下期の前年同期比につきましては、丸亀製麺セグメントでは一軒一軒すべての店で粉からつくる打ち立てうどんのおいしさを基盤に、商品戦略とブランディングを並行して増収増益を図ります。国内その他セグメントでは出店等による増収を見込んでいますが、次期の出店増加を見据えて人材採用・育成、マネジメント強化のための投資を行うことから、利益率は期初計画と同水準を想定しています。海外事業は英国 Fulham Shore 社の連結も加味して大幅な増収となる計画です。同社の当期の利益貢献は限定的と考えていますが、他業態の収益性向上によりセグメントの事業利益は増益となる見通しです。

これらの取り組みにより、修正通期連結業績は前期比、期初計画比ともに増収増益を計画しています。

(参考)2024年3月期通期セグメント別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

売上収益	2024年3月期 期初計画	2024年3月期 修正計画	期初計画比		2023年3月期 実績
			増減額	増減率	
丸亀製麺	110,000	114,000	+4,000	+3.6%	102,100
国内その他	27,000	27,000	—	—	24,737
海外事業	75,000	90,000	+15,000	+20.0%	61,483
連結	212,000	231,000	+19,000	+9.0%	188,320

(単位：百万円)

事業利益	2024年3月期 期初計画	2024年3月期 修正計画	期初計画比		2023年3月期 実績
			増減額	増減率	
丸亀製麺	13,300	16,900	+3,600	+27.1%	11,624
国内その他	3,300	3,800	+500	+15.2%	3,044
海外事業	2,770	3,600	+830	+30.0%	1,809
調整額	△9,720	△10,600	△880	—	△9,494
連結	9,650	13,700	+4,050	+42.0%	6,984

(注)調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. 2023-2028年3月期中長期経営計画の修正

当社グループは「食の感動体験」を世界中に拡大すべく、敢えてローマ字で表記した「KANDO トレードオン戦略」を根幹に据えた「2023-2028年3月期中長期経営計画」を推進しています。

当初計画では事業利益率12%を目標に掲げておりましたが、「丸亀製麺」と「国内その他」の両セグメントの事業利益率は、当第2四半期で16%を超えるなど、店舗当たりの収益性が大きく向上しました。

海外事業においては、フランチャイズフランチャイズ比率を高めていくためのステップとして直営店の成功モデル確立を優先する期間が当初計画よりも長期化する見通しとなりました。ロイヤリティ中心のフランチャイズと直営店では収益モデルが異なることから、海外事業の収益計画を上方修正し、店舗数の計画も見直しました。

これらのことから、2028年3月期の目標とする売上収益と利益額を引き上げ、経営指標を上方修正しました。

新経営指標

	3か年計画		中長期目標
	24年3月期	26年3月期	28年3月期
売上収益	2,310億円	3,100億円	4,200億円
事業利益	137億円	226億円	420億円
事業利益率	5.9%	7.3%	10.0%
営業利益	100億円	186億円	380億円
営業利益率	4.3%	6.0%	9.0%
店舗数	2,000店舗	2,800店舗	4,900店舗
(ご参考) ROE目標	-	10%以上	12%以上

(ご参考) 修正前経営指標 (2022年5月13日公表)

	3か年計画		中長期目標
	23年3月期	25年3月期	28年3月期
売上収益	1,770億円	2,200億円	3,000億円
事業利益	62億円	140億円	360億円
事業利益率	3.5%	6.4%	12%以上
営業利益	40億円	120億円	約300億円
営業利益率	2.3%	5.5%	10%程度
店舗数	1,867店舗	2,500店舗	5,500店舗超
(ご参考) ROE目標	-	10%以上	12%以上

2023-2028年3月期 中長期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページ(<https://www.toridoll.com/ir/>)掲載の「2024年3月期 第2四半期 決算説明資料」を参照ください。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上